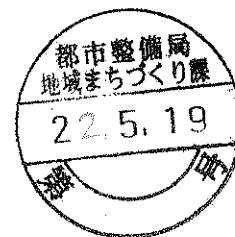


ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書



※ 記入上の注意

- ① 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ② 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③ 位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。
- ④ 提案書、添付資料を審査員以外に配布する際は白黒コピーとなります。

整備提案名 (25字以内)	中山町「緊急放送システム」導入によるまちづくり
提案グループ名 (25字以内)	中山町自治会
グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績	<p>毎月の定例理事会を中心に、各種団体(委員)の協力により町内の安全や活性化を目的に多くの行事を行っている。スポーツフェスティバル、盆踊り大会、中山町まつり、総合防災訓練を柱に、高齢者食事会、老若男女によるグラウンドゴルフ会、餅つき大会などを行っている。</p> <p>近年に力を入れているのが全町民に防災の意識付けの取り組みによる安心で安全な、且つ人と人のつながりを大切にしたい考えを上記の各行事に取り入れている。例えば、スポーツフェスティバルの各チームカラーは、防災訓練時の地域カラーと同じにしてエリアがわかるようにしている。</p> <p>また熟年者等による学援隊や見守り隊による小学生の通学安全確保と交流も行っている。</p>
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	<p>緑区中山町の全域 約1007Km² (MM21地区540個分相当)</p> <p>※位置図及び現況写真を添付します</p>
整備提案の内容	<p>中山町は広大な地域面積と居住人口12000人の町です。</p> <p>この町の隅々まで住宅が建ち並び、中山駅周辺にはマンションも多く建ち並び現状から、緊急時の対応が均一にできることを主眼に次のような整備を行う。(別添函参照) 緊急放送システムはMCA同報通信システム(移動無線センターが提供する800MHz帯デジタル無線サービス)を採用する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 町内の8箇所にスピーカー等を設置する塔を建てる(子局)。 2) 町内会館に親局を設置する。(子局との双方向通信が可能) 3) スピーカー塔は主に公園内設置として土木事務所の指導を受けて行う。 4) 子局には携帯無線機を設置して、子局から親局または全体に緊急の連絡ができるものとする。 5) システムの運営と管理は全て町民により行う。 6) 放送は緊急時の他に町会が行う行事の連絡等にも活用する。 7) 放送は毎日夕刻にシステムの点検を兼ねて音楽を流し、ふるさとイメージの定着と子どもの安全主導にも活用する。また地域の高齢化をふまえて防犯や安全対応にも活用する。 <p style="text-align: right;">整備費用の概算額：約 3000万円</p> <p>※添付資料として整備提案のイメージ図を添付しています。</p>

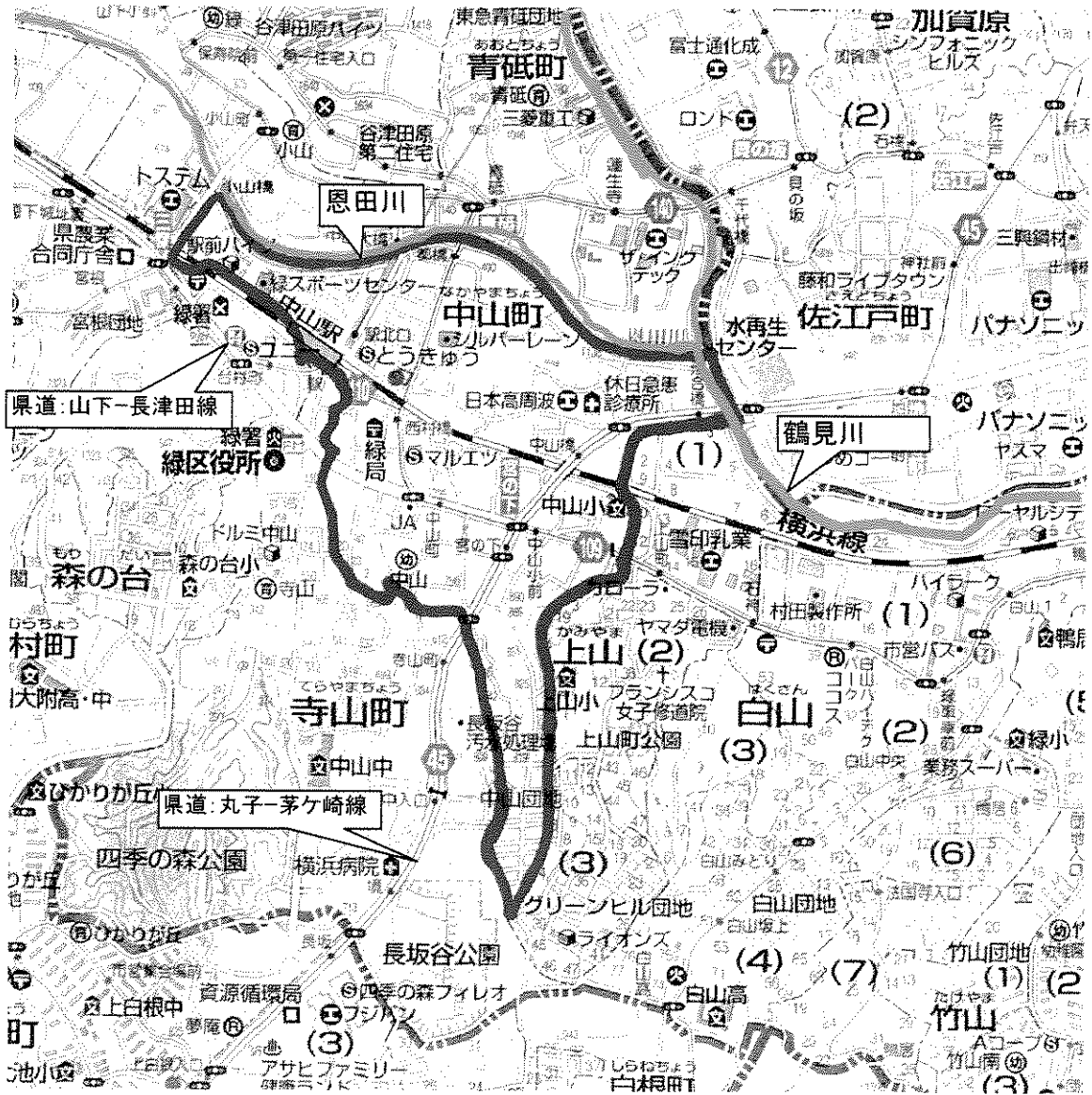
<p>整備提案の動機や背景 (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)</p>	<p>《放送設備の主たる目的は、災害時の情報を素早く町内の隅々まで同時に伝達することにあるが、日常においても多目的な活用を考えている》 本計画は5年前に発案されて検討を重ねてきた。3年前には総会にて町民の了承を得て、更に詳細について検討をして今日に至った。その課題は</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町域が広いと、狭隘な道路も多く存在しているために、緊急時には情報の伝達や収集が非常に難しいこと。 2. 町内には崖地や鶴見川水系のハザードエリアがあること。 3. 町内にて主要幹線道路(県道)2本が交差しており、通学路はこれを通すしなければならないために、安全情報を必要としている。 4. 日常的にも、町民12000人への決め細やかなサービスと充実したまちづくりの必要性が挙げられている。
<p>整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急時の情報を町内一斉に伝えることができる。 2. 緊急時に子局から携帯無線機でエリア毎の情報を、親局などと直接に双方向の情報交換をすることができるので、迅速な対応が可能となる。 3. 町の主要行事の際に開催状況やエリア毎の集合場所などを伝達できる。 4. 防犯に関する注意情報や迷い人情報を伝えることができる。 5. 定時放送(音楽)により、子どもをはじめ住民の故郷意識向上に繋げることができる。 6. このシステム整備は町民にとって非常に関心が深かったので、説明会を通して町内隅々までコミュニケーションの場が広がっている。 7. システムの運営管理に多くの町民が係わってくるので、新たなコミュニティが生れることが期待できる。
<p>整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. システムの維持費は年間約65万円であり、町会費で十分に賄える。 2. 管理運営には町内の各ブロックから担当を数名ずつ推薦する(約100名位の関わりを予定)。また、スピーカー塔設置場所の周辺清掃や災害予防ポスターの掲示など、老若男女による関わりからこれまでに無かったコミュニティができる。 3. 結果として、お互いに信頼し、思いやりを持ち、明るいまちづくりの一翼を担うことができる。
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源(注4) ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<p>《アイデア》1. システム点検を兼ねた定時放送の音楽を町民から公募して全員参加の故郷づくりをする。2. 小学生による防災のためのポスターや標語を掲示して、町民の意識を高める。</p> <p>《地域資源の活用》1. 自分たちで特徴のあるまちづくりをしたいという町民の声が、地域在住のそれぞれの専門家を動かした。2. 管理運営には現役を退いた方々が、貴重な経験を地域のために力を発揮してくれる。3. 整備費の多くは自治会費積立金からと町民の寄付を受ける。</p> <p>《住民の合意形成》4月の住民説明会は494名の出席を得た。そこではシステム整備後の活用に前向きな意見が沢山寄せられた。住民と町会役員との距離が近くなり、コミュニティが熟成の方向に向かい始めた。</p>
<p>整備場所の地権者等(注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況</p>	
<p>説明の相手方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑土木事務所 (公園：子局5箇所) ・横浜市 (中山小学校など：子局2箇所) ・神社庁 (杉山神社：子局1箇所) 	<p>相手方の意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> 内諾を得ている(許可申請書類は未提出) 内諾を得ている(許可申請書類は未提出) 内諾を得ている(許可申請書類は未提出)

5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

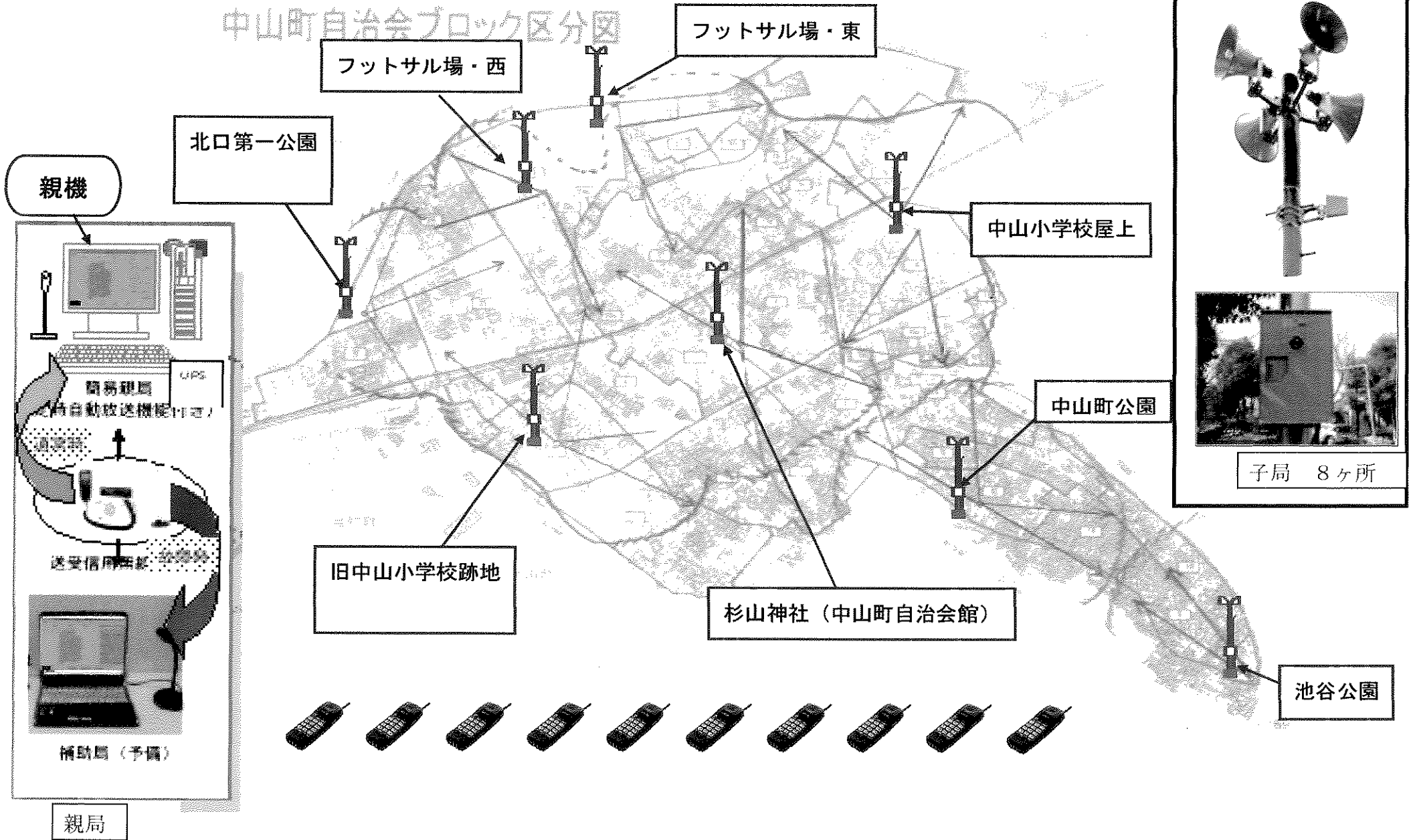
記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

中山町位置図



中山町自治会ブロック区分図



「中山町緊急放送システム」のご案内

大きな災害が起きやすくなっています

- 海水の温暖化などによる台風の大型化や「ゲリラ豪雨」が多発しています。
- 地震の可能性も増えています。
- 地域住民の高齢化が進んでいます。

中山町を安心・安全の町に！

「中山町緊急放送システム」の使い道

<非常時の活用>

- 災害発生が予測される状況で、横浜市や緑区からの「警戒情報」「災害情報」「避難情報」等を放送します。
- 災害発生後の救援物資の支給などの情報を放送します。
- 携帯型無線機を使って危険地域や被災地の状況を素早く確認し、障害物の報告や除去、適切な避難誘導などを行います。
- 災害発生時に「中山町防災ささえあいカード」の申込者の安否を携帯型無線機を使って確認します。

<日常の活用>

- 中山町内を中心に近隣の防犯情報を放送します。
- 中山町自治会の主要活動の実施案内を放送します。
(これは必要最小限にとどめます)
- 高齢者の徘徊など地域住民の捜索情報を放送します。
- その他、地域住民の安心と安全に対して必要と認められる情報を放送します。

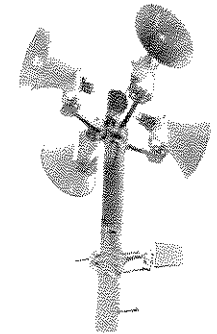
<定時放送>

- システムの点検のために、毎日夕方に短い曲を流します。

スピーカーの立つ場所

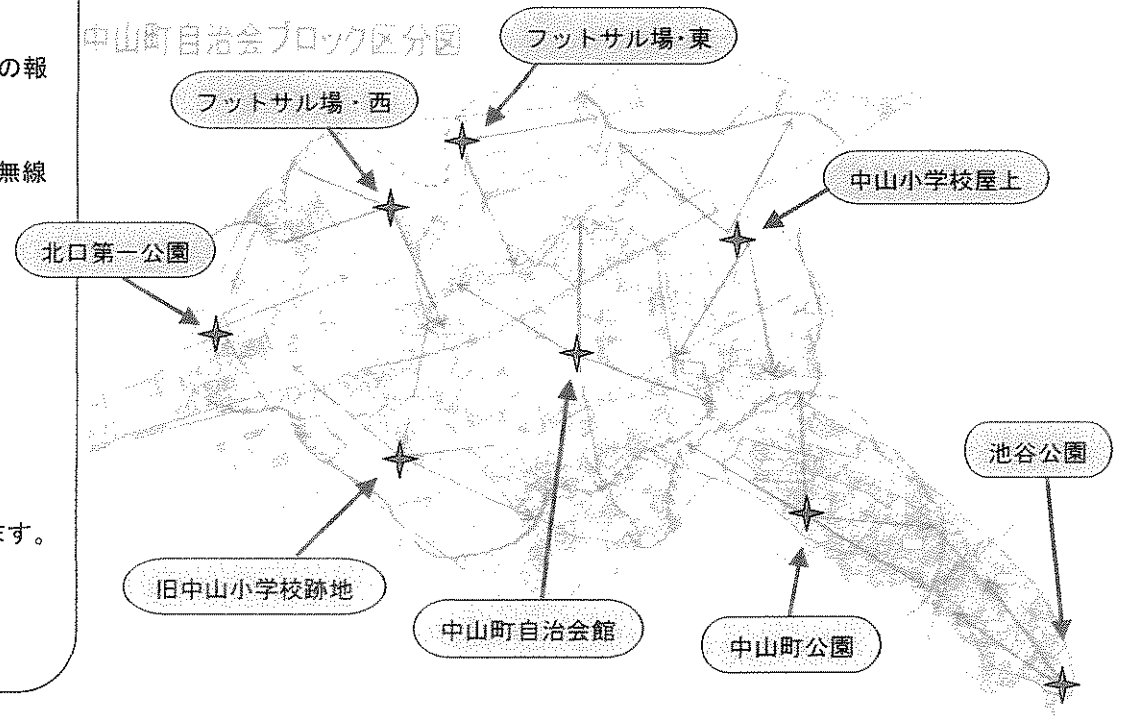
■中山町内に8カ所設置予定

- ①.中山町自治会館（杉山神社）
- ②.中山小学校屋上
- ③.フットサル場・東（ビードロ公園）
- ④.フットサル場・西
- ⑤.北口第一公園
- ⑥.旧中山小学校跡地
- ⑦.中山町公園
- ⑧.池谷公園



(移動無線センターHPより)

中山町自治会ブロック区分図



中山町「緊急放送システム」導入に伴う住民説明会の推移

本システム導入にあたり2年度に涉って自治会年次総会において承認は得てきたものの、実際に整備が進んだ時に考えられる地域住民の声を事前に聴き、意見交換をし、理解を得ることの重要性から緻密なスケジュールを以って住民説明会・意見交換会を行った。

ブロック理事の協力

町内各エリアから選出されている理事の協力を得ることは必須とし、毎月の定例理事会にて本システムについて詳細説明を繰り返し行い、理解をして頂いた上で説明会を次のように行った。

- 1 住民説明会・意見交換会開催予告 回覧 2月27日
- 2 住民説明会・意見交換会開催案内（出席表付き） 各戸配布 3月10日 10,000部
案内の配布は自治会に未加入の住民にも配布した。配布に際して理事の元にいる班長にも協力をお願いしたがアパートなどの単身世帯には特に配布洩れの無いようにした。
- 3 説明会は次の日程に行い、延べ494名の出席を得た。

開催日	時間	会場	対象地区	参加人数
4/10(土)	10:00～	会館	黄・白	86
	14:00～		紫(9・10)	17
	15:00～	ハーモニー	桃	38
4/11(土)	10:00～	ラブニール	緑	32
	14:00～	会館	赤・紫(11・12)	74
4/15(木)	12:00	会館	老人会など	50
4/24(土)	10:00～	会館	池ノ谷公園	29
	10:00～	ラブニール	北口第一後援	6
	14:00～	会館	中山小学校	42
	中山小学校・跡地			
4/25(日)	10:00～	会館	中山町公園	71
			フットサル場西	
	14:00～	会館	町内会館付近	49
	フットサル場東			
合計				494

- 4 説明会の中で参加住民からは71項目の質問が出され、説明者と意見交換した。
意見の中で計画に反対の意向を示すものはなかった。ほぼ全てが計画の推奨と運営体制はどんな人が係わるのか、また有効に活用して欲しいなど積極的な取り組みを示唆された内容が多かった。